

【月案】1月・4歳児

今月の保育のポイント

- 手がかじかむ、息が白い、霜柱があるなどの、冬の自然現象に興味をもち、いつもの違いに体で気付く子どもたちに「不思議だね」「どうしてこうなるんだろう」と一緒に共有しながら調べていくと、楽しく自然の変化を楽しめる。いくつかのバケツにちょっと水を張っておき、凍ったもので遊ぶのも面白い。
- 「寒いのは嫌い」「寒くても外が好き」各家庭のこれまでの生活によって、それぞれ好みが出てくる。子どもに合わせてどちらも楽しめるように環境を準備していく。
- トラブルや困ったことが続けば、クラスで共通のルールをもって話して考える機会も大切。ルールは保育士が子どもに与えるものではなく、みんなが快適に過ごすための決まりという認識を子どもがもつことが重要。

月のねらい

- 遊びのルールを守りながら、気の合う友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 冬の自然現象を知り、興味や関心を持つ。
- 必要な生活習慣を身につけ、健康に過ごせるようにする。
- 自分の気持ちや考えを保育者に伝えようとする。
- お正月料理や七草がゆなどの日本の風習に触れ、日本の文化に関心を持つ。
- 冬の身支度をし、戸外で遊ぶことを楽しむ。
- 友達と一緒に生活する中で友達と過ごすことの喜びを感じる。
- 冬の感染症に留意し、小まめな視診触診をしたり、室内の環境を整える。
- 物語に興味を持ち、絵や文からイメージを膨らませることを楽しむ。
- 進級に対する期待を持ち始め、年長児に対する憧れの気持ちを抱いたり、年下の子のお世話をしようとする。

週のねらい

その1

- 1週目：生活リズムを整え、遊びや活動を思いっきり楽しむ（養護）
- 2週目：お正月遊びやおもちつきを通して、日本の風習について知る（教育）
- 3週目：友達と一緒にルールを守って遊ぶ楽しさを味わう（教育）
- 4週目：気の合う友達に自分の気持ちを伝えたり相手の気持ちを受け止めたりしようとする（教育）

その2

- 1週目：お正月ならではの遊びに興味をもち、ルールを守って気の合う友達と一緒に遊ぶことを楽しむ（教育）
- 2週目：冬の生活に必要な習慣を身につけ、健康で快適に過ごせるようにする（養護）
- 3週目：身近な自然の変化に気づき見たり触れたりして興味や関心を持つ（教育）
- 4週目：お話のイメージを広げたり、友達と表現したりすることを楽しむ（教育）

その3

- 1週目：正月の挨拶を知り、保育者や友達と挨拶を交わすことで正月の雰囲気味わう（教育）
- 2週目：室内の換気や加湿・消毒を行ったり、水分補給を促すことで感染症予防に努める（養護）
- 3週目：進んで冬の身支度を行い、戸外で遊ぶことを楽しむ（養護）
- 4週目：異年齢児と関わる中で憧れやお世話しようとする気持ちが育つ（教育）

その4

- 1週目：友達と久しぶりに会うことを喜び、一緒に過ごす楽しさを味わう（教育）
- 2週目：知っている言葉を使って経験したことや思いを保育者に伝えようとする（教育）
- 3週目：氷や霜、枯れ葉などの冬の自然を取り入れて遊ぶことを楽しむ（教育）
- 4週目：節分に向けて様々な素材を使って製作することを楽しむ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 「●ちゃんが泣いてる」「怖い顔をしている」など相手の変化に気づき、相手の思いに少しずつ気付くようになっていく。
- 寒くなってきて水が冷たいため、手洗いやうがい面倒になり適当に済ませようとする子がいる。
- 片付けの際には、自分が使っていない玩具も友達と協力して片付けようとしている。
- 鼻水が出ていても気にせず放っておいてしまう子やうまく鼻がかめない子がいる一方で、「鼻水が出ているよ」など友達同士で声を掛け合う姿も見られる。
- 「寒い」「お腹が痛い」等、自分の体の変化を保育者に伝えようとする。
- サンタクロースの存在に期待を膨らませ、気持ちが高まっている様子が見られた。
- 食事では自分の好き嫌いが分かり、量の増減を要求する姿が見られた。
- 寒くなり入眠に時間がかかったり、眠りが浅い様子が見られた。

教育（遊び）

- 鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊びを、気の合う友達と一緒に楽しんでいる。
- 遊びの中で友達とイメージを共有できるように、自分の思いや考えを言葉で相手に伝えようとしている。
- 落ち葉や雪などに関心を持ち、実際に葉っぱに触れたり絵本などを見たりして冬の自然を見たり楽しんでいる。
- 友達と一緒に歌を歌ったりダンスをしたりすることを楽しむ姿がある。
- 好きな遊びがはっきりとし、連日楽しむ様子が見られている。
- ピースの多いパズルに集中して取り組んでいる。
- 文字や絵をかくて、友達と手紙交換することを楽しんでいる。
- 友達に負けることを悔しがり、相手に対する口調が強くなったり、泣いたりする。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**手洗いうがいを行う大切さを知り、自らきちんとしてようとする。（健康）
環：手洗いうがいは風邪の予防になることを伝え、石鹸を使って丁寧に洗う方法を説明する。
- **活：**お餅つきやお正月料理、給食などを通して食材に関心を持ち、楽しんで楽しい雰囲気の中で食事をする。（環境・健康）
環：料理に使われている食材について話をする機会を設け、子どもが食材に興味を持てるようにする。
- **活：**生活の中で自分の思ったことと、実際に起こっていることを結び付けて生活する。（環境・表現）
環：「福笑い」が食べ物だと思っている子どもがいたり、子どもの中でまだ曖昧なものが多い中で、想像、思考しながら実物やその内容を知る喜びを楽しめるよう、保育者が積極的に子どもたちに問いかけ、その後で実物を出したり、一緒に調べる等、1度は想像して期待するクッションを挟む。
- **活：**トイレをマナーに配慮しながら使用し、自分や他者が快適に生活をする。（健康・環境）
環：スリッパを並べることや、手洗いの水を床に落とさないことを、どっちが使いやすいか？を示しながら丁寧に伝えていく。つい粗雑になってしまう子には、一人ひとりの協力が必要であることも個別にお願いをする。
- **活：**人の考えを聞いたりみんなで話し合うことを通して、自分と考えや意見が違う人を知る。（人間関係）
環：一人ひとりが考えられるよう、最初はどっちで遊びたいか？を提示するところから始め、二つのコーナーで責任をもって片づけをしたり、場所を確保することを経験していく。その際、自分の意見が通らなかったり、話す内容が分からない子の援助を保育者が代弁したり、励ましたり、注釈をつけるように分かりやすく説明をする。
- **活：**経験したことや自分の思いを言葉で伝え、共感してもらったり言葉を補ってもらうことで言葉の使い方を知る（言葉・人間関係・表現）
環：言葉を発するまでに時間がかかっても、じっくりと待ち、目を合わせながら話に共感することで、言葉で伝える喜びや自信に繋げる。又、思いに近い言葉で補ってあげることで、伝え方の幅を広げられるようにする。
- **活：**鼻水が出ていることに気づき、進んで鼻かみをする。（健康）
環：率先して清潔にする姿を笑顔で認め、清潔にする気持ち良さに繋げる。必要に応じてなぜ鼻かみをするのかを一緒に考えながら、鼻かみに対する意識が高まるよう関わる。
- **活：**片付けをする中で自分の身の回りや保育室が綺麗になることに気持ち良さを感じる。（健康・環境）
環：片付け方を写真や絵で明確にしておき、自分で考えて片付けることが出来るような環境を作る。子ども達と一緒に身の回りの環境が綺麗になる気持ち良さに共感しながら、片付けが身に付くよう関わる。
- **活：**友達と一緒に使うかるたやコマ等の玩具を大切にしようとする。（環境）
環：「優しく使ってくれたから〇〇組さんも使えるね」「破れないように遊んでくれてありがとう」と子どもが意識していないことでも言葉にして褒め、身近な物を大切に扱おうとする気持ちを育てられるようにする。
- **活：**園での生活を取り戻し、見通しを持って生活する。（健康）
環：生活の流れを絵で示したり、時計に印をつける等しながら、子ども達が次の活動に見通しを持って取り組めるようにする。必要に応じて子どもと一緒に確認し、園での生活リズムに戻せるように関わる。

- **活：**年長児の生活や行事等を見学したり、年下の子と関わる中で進級に対する期待を持つ。（人間関係）
環：年長児から始まる活動を見学する時間を設けたり、次に3歳児クラスになる子と一緒に過ごすことで進級に対する期待が膨らんだり「やってあげよう」という思いやりの気持ちが育つように関わる。

教育（遊び）

- **活：**友達と遊びのイメージを共有し、一緒に話し合いながら遊びを進めることを楽しむ。（言葉・人間関係）
環：遊びのイメージがなかなか共有できず、友達の輪に入れない子がいないかよく注意しておく。友達と一緒に声をかけたり、遊んでいる子にルールをゆっくり説明してもらうなど援助し、友達と遊ぶ楽しさを味わえるようにする。
- **活：**かるたやコマ回しなどのお正月ならではの伝統的な遊びを楽しむ。（環境）
環：遊んだことのない子にも分かるように、かるたやコマ回しなどのやり方を丁寧に伝える。
- **活：**友達に自分の考えや気持ちを伝えるとともに相手の考えも受け止め、話に折り合いをつけようとする。（言葉）
環：友達と一緒に遊びを進められるよう、玩具は十分な量を準備し、思いっきり楽しめるよう遊ぶ場所やルールを決めておく。
- **活：**落ち葉や氷などを見つけ冬の自然に親しみ、遊びに取り入れようとする。（環境・表現）
環：落ち葉や氷を遊びの中で活かせるよう、必要に応じて遊びの提案が行えるようにしておく。
- **活：**新しい内容やルールのある遊びに対して、負けや失敗をしても、次がある安心感をもって挑戦する。（健康・人間関係）
環：新しい遊びや集団でのルール遊びを行う時、「ちょっと難しいけどできるかな？」「負けても復活ができる」などの逃げ道を用意しておき、子どもたちの抵抗感なく入れるようにする。段々と慣れてくれば、負けたら待つなどのルールに変更する。
- **活：**自分の好きな遊びを友達と意思を出し合いながら進め、一体感や自己発揮の楽しさを味わう。（健康・人間関係・表現）
環：空想の世界に入って遊べるよう、子どもが好きな絵本の内容などに沿って製作活動や探索活動などの活動を進める。想像の世界からクラスの物語を作っていく。
- **活：**様々な素材を使って制作を行い、作ったもので友達と遊んだり、互いの表現を認め合いながら一緒に取り組む。（人間関係・表現）
環：色んな素材を用意し、子どもの想像力を発揮できる環境を整える。作ったものを明日も使えるように残す場所を確保する。
- **活：**白い息が出たり手が冷たくなったりすることに気づき、冬ならではの現象に興味や関心を持つ。（環境）
環：寒いと息が白くなるなどの冬ならではの現象に、子ども自身が気付けるように声掛けをする。
- **活：**年賀状や手紙ごっこを通して文字や絵でやりとりをすることを楽しむ。（環境・人間関係・表現）
環：「文字を書きたい」という気持ちを受け止め、一緒に書いたり、なぞれるように点線を書いてあげたりしながら、友達と言葉以外でやり取りをする楽しさに繋げる。
- **活：**物語の世界観を自分なりにイメージし、取り入れて遊ぶことを楽しむ。（環境・表現・言葉）
環：「～だと思う」という言葉を否定せずに受け止め、安心して自分が思う世界観で表現出来るようにする。
- **活：**友達と一緒に歌や踊りで表現することを楽しむ。（表現）
環：笑顔で表現する姿を受け止め、楽しさに繋げる。テレビや携帯電話等で耳にする音楽や歌等も取り入れながら、表現することを存分に楽しめるようにする。

- **活：**夢中になれる遊びを見つけ継続して楽しむ。（環境・表現）
環：十分な素材や玩具等を用意しておく。1日で完成しないことを考慮し継続して遊び込めるよう配慮しながら創造力の育ちや達成感に繋げる。
- **活：**遊具に合わせて体をコントロールしながら遊ぶことを楽しむ。（健康・環境）
環：滑り台、平均台、跳び箱、トランポリン等様々な遊具で遊べるようにし、体を動かす楽しさに繋げる。又、新たな遊び方を提案することで様々な体の動きを経験できるようにする。
- **活：**ハサミやセロハンテープ等を安全に使い、用具を使って遊ぶことを楽しむ。（健康・環境）
環：遊んでいる様子をそばで見守り、必要に応じて使い方を再度確認しながら安全に使えるよう働きかけるとともに用具を使うことの便利さや楽しさ等を感じられるよう関わる。
- **活：**喜んだり、悔しがったり様々な感情を経験しながらルールのある遊びを楽しむ。（人間関係・表現）
環：悔しい気持ちに寄り添い、受け止めてくれる人がいるという安心感のもと、気持ちが切替えられるよう関わる。保育者と一緒に勝てる方法を考えたり、友達と考える機会を持つことで楽しさや協調性の育ちに繋げる。

健康、安全面で配慮すべき事項

- インフルエンザなどの流行性の風邪が流行りやすい時期。発症が疑われるときには迅速な対応ができるよう、職員同士で対応を確認しておく。
- 子ども自身で気温に合わせて衣類の着脱を行おうとするがしっかりと自己管理することは難しいため、室内外の気温に合わせて適切な格好ができているか注意してみる必要がある。
- コマ回しは思った方向にコマが飛ばせない恐れもあり少し危険を伴うので、子どもが遊び込めるようにコーナーをしっかりと準備し、安全に遊べる場を準備しておく。
- 体の動きがダイナミックになってきているため、室内外での過ごし方を再度確認し合い、衝突や転倒などの事故予防に繋げる。
- 遊具の定期的な点検を行い、事故予防に努める。
- ティッシュペーパー、石鹸、タオル等の補充を行い、子どもが気付いた時にすぐに行動出来るような環境を整える。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- パクっとけん玉／紙皿で作る立体トラ／段ボール羽子板製作

歌

- ゆげのあさ／ゆきのプレゼント／ゆきってながぐつ好きだって

絵本

- あけましておめでとう／おおかみと七ひきのこやぎ／14ひきのもちつき

手遊び

- 大きくなったら何になる／おにのパンツ／せんせいとおともだち

室内室外遊び

- 転がしドッジボール／ねことねずみ／画用紙で簡単凧揚げ

行事

- お餅つき
- 誕生会
- 避難訓練
- 元日(1月1日)
- 書き初め(1月2日)
- 人日の節句(1月7日)
- 鏡開き(1月11日)
- 成人の日(1月第2月曜日)

食育

- お餅つきやお正月料理を体験することでお米や黒豆などの食材に親しみ、食べ物に関心を持つ。
- 保育者や友達と会話しながら楽しく食事を進める一方で、食べながら話さないなどの食事のマナーを知り、守ろうとする。
- 食前の準備・挨拶、食後の片付けを丁寧に行う。
- 食材名や料理名を知り、保護者や友達との話題にする。

地域と家庭との連携

- 園だよりや掲示板でもちつきの日程について知らせ、準備の協力をお願いする。
- 元気に過ごすための情報や対策を共有し、家庭でも生活リズムに気をつけて過ごしてもらえるよう呼びかける。
- 連休明けで体調の変化も起こりやすいため、子どもの様子について細かに知らせていく。自分の持ち物を自分で管理しようとする時期であるため、子どもが自分の持ち物だと分かるように、一緒に準備したりマークをつけたりしてもらうよう協力を求める。
- 友達との関わり方について共有し、保護者が安心感や成長を感じられるようにする。
- 進級にむけての取り組みが少しずつ始まることを知らせる。
- 地域の方を招いて一緒に正月遊びをしながら交流を図る。

自己評価

- 子ども同士がお互いに自分の気持ちを言葉で伝える機会が持てたか。
- 発熱などの症状があった時には職員で連携を取り、迅速な対応ができたか。
- 友達と一緒にルールを守りながら遊びを進める楽しさを味わうことができたか。
- 手洗いうがいなどの正しい行い方を知り、子どもが自ら行えるようになったか。
- 寒い季節の中でも体を動かして遊ぶことを楽しめていたか。
- 日本の伝統行事について知り、参加したり遊ぶことを楽しんでいたか。
- 様々な素材を使って自由に表現することを楽しめていたか。
- 冬の感染症予防のため、室内環境を整えたり、子どもに働きかけることができたか。又、感染を最小限にする工夫をしたか。